



新年のご挨拶

(うわい ひでかつ)
東播支部支部長 上井 秀勝



新年を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

平素は、支部会務運営にご支援とご理解を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

昨年は東日本大震災をはじめ、数多くの重大な出来事がありました。それを解決するための課題が山積された大変な状況下にあります。今年、「辰年」です。邪気を除き、すべての気運を上げるといわれている「龍」に与り、一人ひとりが力を合わせ、上昇気流に乗り、活気ある社会になることを期待したいと思います。

昨年、兵庫県行政書士会と一般社団法人コスモス成年後見サポートセンターとの間で協定を締結しました。11月に開催した支部・企画部合同研修会「成年後見 入門編」の巨賢子会員の講義の中で、業務だけれど社会貢献の一環として捉えた

方が良いといったお話がありました。しんどい業務だと思います。が、高齢化、認知症や独居老人の増加を思慮すると、成年後見制度の社会的意義は重要です。会員の皆様の中で、トライしてみたいと考えられている方は、是非、本会が開催するサポートセンター入会前研修を受講して、社会貢献活動の場で、行政書士制度をアピールしていただき、そして、支部で色んなお話を聞かせていただけたらと考えています。

一昨年は支部設立50周年、昨年は行政書士法制定60年を迎え、次の節目に羽ばたいております。これまで継承されてこられた諸先輩方のご努力を思い、感謝させていただくとともに次の方々へバトンタッチできるよう、今年も努めてまいりたいと思います。

最後になりましたが、本年も支部では、研修事業、厚生事業、広報活動などの支部事業を計画し、実施して自己研鑽、業務拡大、交流の場を多く設けていくようにしたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力を賜りますよう宜しくお願いします。

行政書士は、まちの身近な相談相手

新春の ごあいさつ

兵庫県北播磨県民局 局長 竹本明正



新年あけましておめでとうございます。

兵庫県行政書士会東播支部の皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

早いもので、あの東日本大震災から10ヶ月が経ちました。17年前の平成7年1月、阪神・淡路大震災に被災し、そこから復旧・復興しました兵庫県として、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りしています。

さて、西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町の5市1町からなります北播磨地域は、兵庫県のほぼ中央に位置し、高速道路の結節点であるとともに、JR加古川線、北条鉄道、神鉄粟生線により鉄道ネットワークが形成されています。

また、豊かな自然や歴史、文化、伝統ある産業、多彩な農産物に恵まれております。

県民局では、これら地域の誇りを最大限に活かし、人・もの・情報が力強く交流し、人々の志が集う場所『ひょうごのハートランド』をめざし、「交流による元気づくり」、「絆に支え

られた元気づくり」、「地域産業・農山村の元気づくり」に取り組んでいます。

新年度におきましても、地域の力を結集し、これら取り組みをさらに深めてまいります。

最後になりましたが、兵庫県行政書士会東播支部の今後ますますのご発展、そして、この新しい一年が会員の皆様にとって素晴らしい年となりますよう、心より祈念いたします。



「法の日」無料相談所の開設

会員 岸本 一文

昨年(2019年)の10月1日(土)に加東市社のやしろショッピングパークBio 1階情報プラザで、昨年と同様に土地家屋調査士会東播支部との共催で行われました。

午前の部の担当者は9時20分に集合、入店後会場の準備をして10時より無料相談所を開設しました。今回も、例年通り9月24日(土)の神戸新聞朝刊には会員有志による「法の日」無料相談会開設の広告掲載、そして開設日前日の9月30日(金)に同紙朝刊23面の地域ニュース北播の「おはよう北播」に無料広告の掲載、さらに加東市のケーブルテレビのテロップで紹介され、それらの宣伝の効果があつたのか午前中は一時、相談者の席が足りなくなるほどの盛況だったようです。

私は、午後の部の担当として12時に集合、12時30分開始の予定でしたが、開始して間もなく相談者が来られて、午後の部も上々の滑り出しのように思いましたが、その後は2件の相談に止まり、16時に看板の回収、机の撤去等を行い解散しました。

無料相談に来られた方々を地域別にみると、加東市7人、西脇市1人、多可町2人、加西市1人、三木市1人の合計12人となり、やはり開催地の相談者が多いよ

うです。また、相談内容については相続関係3件、登記関係3件、契約関係2件、訴訟その他が3件の相談が寄せられました。

「法の日」が創設されてから今年で52年目になるそうですが、この「法の日」の無料相談や毎月の無料相談所の開催は、行政書士の知名度の向上や地域社会への貢献度アップのためには非常に意義があり、今後も継続的に開催することは重要だと考えますので、会員各位の更なるご協力をお願いいたします。



鳥取研修旅行に参加して

会員 吉田猛尚

恒例による研修旅行を11月27日～28日に実施いたしました。

当日は、晴天に恵まれ、午前9時加西市を出発しました。中国道を下り佐用から鳥取道を北上、一路鳥取へ向かいました。

鳥取道は高速道が平成22年3月に開通しており、とても快適でした。開通前は、曲がりくねった谷あいの道路を何度も走ったことがありますが、久しぶりの鳥取で高速道路の快適さを感じました。

北上するにつれ木々の紅葉が美しく絶好の紅葉日和となりました。

途中、道の駅「あわくらんど」に休憩、ここは岡山県の北端、岡山県と鳥取県の県境で、中国山脈を



貫く志戸坂トンネルを抜けると気候が急に変わってきました。

瀬戸内気候から日本海の気候に変わる境と感じられる。

「トンネルを抜けるとそこは雪国であった」川端康成の一説を思い出しました。

昼に砂丘に着き、昼食後、広大な砂丘を散策して、砂丘を後にし、鳥取城址、荒木又衛門の墓にある玄忠寺、鳥取港を見学後、東郷湖畔にある、今日の宿泊地、千年亭に向かいました。

2日目は、朝から会社の解散と清算について、建設業の請負契約のリスクと帰責についてのDVDを見ながら研修会を行い途中倉吉へ寄り、境港へ足を伸ばし鳥取県を回ってきました。

行政書士試験監督員体験記

会員 村上真理

まだまだ暑さの残る9月のある日、支部の方から、行政書士試験の監督員のお誘いを受けました。こんな経験ができるのは、またとないチャンスと思いお受けしましたが、昨年の大学受験時には携帯電話を使用した不正事件などがあり、大変なことをお受けしたという実感もありました。

11月13日、秋の陽気に恵まれた日に平成23年度行政書士試験は行われました。私たちが担当する神戸市立外国語大学には、9時に到着し、諸先輩方の普段されている業務の事を伺ったり、相談に乗って頂いたりしながら和やかな時間が過ぎました。

しかし、集合の9時半を過ぎると、緊張した雰囲気になり、明石支部の佐々木支部長指揮のもと、会場設営など準備に動きだしました。そして、昼すぎには、この日の為に勉強に励んできた多くの受験者の方々が来場し、緊張した面持ちで集まっており、思わず身の引き締まる思いがしました。午後1時、熱気と緊張に包まれた雰囲気の中、試験

は開始され、午後4時に終了。その後、回答用紙の回収等を経て長い1日は終わりました。

受験者の方々は、この日の為に日々努力してこられ大変な苦勞をされてきています。その大切な試験を受験者の方々が実力を存分に発揮できるように配慮すること、不正行為を許さず公正な試験を行う事等、実感させられました。



産廃研修会

会員 渡邊尚樹

8月29日(月)、東播磨生活創造センターにおいて、東播・明石・加古川3支部合同の研修会が行われました。参加人数は合同という事もあり総勢47名、非常に多くの方



のご参加を頂きました。講師に兵庫県北播磨県民

局岡田圭司環境課課長をお迎えし、「産廃法の改正」「産廃収集運搬業許可」「産廃処分業許可」というテーマで研修をしました。一昨年4月に改正された産廃法について改めて詳しく解説頂き、実例を挙げながら非常に分かりやすい言葉でご説明頂きました。産廃の収集運搬については、業務をされている会員の方も多く、こういった時期に産廃法の研修会があり本当に良かったと感じました。研修終わりの質問時間では多くの質問があり、この業務の関心

の高さをうかがわせました。岡田課長にはお忙しい中、非常に為になる研修をして頂き、また質問の時間ではその一つ一つに対し丁寧にご回答頂き心より感謝申し上げます。

研修会終了後は、納涼会と銘打ちビアガーデンにて3支部合同の懇親会が行われました。久しぶりに見る顔、初めてお会いする方、普段話す機会のない方々ともたくさんのお話しができました。今度は3支部合同の旅行をしよう！などという企画も持ち上がるなど、いつもと違った雰囲気を楽しむ懇親会は大盛況でした。

ご参加された皆様、お疲れ様でした。



開発許可研修会報告

会員 村上周造

平成23年10月20日(木)、午後1時30分より滝野文
化会館において、研修部による開発許可の研修会を
開催致しました。

先般、兵庫県において「開発行為」の運用基準が改
正されたこともあり、関心のある方が多いのではないかと、当支部会員はもとより、他支部会員、また近
隣の建築士の方々にも開催のご案内をしたところ、
40名以上の参加者がありました。

第1部は、北播磨県民局加東土木事務所まちづく
り建築第2課の梶原佐利課長に講師を務めて頂き、
「開発許可制度のあらまし」について講義して頂き
ました。開発許可制度の基礎から改正事項まで丁寧
に説明して頂き、非常に分かり易い講義内容でし
た。また、講義の途中には、演習を取り入れて頂くな
ど、研修を退屈させないようにとの御心遣いまで
して頂きました。

第2部では、当支部の三村良三会員に講師をお願いし、「開発許可の関係法令について」を講義して頂
きました。開発許可申請に伴う、農地法や道路法、ま
た工場立地法・緑条例など、様々な関係法令の申請
や届出等について詳細に説明して頂きました。三村
会員は、数多くの開発許可申請を手掛けられてお

り、実務で得られた知識と経験からのお話は大変参
考になるものでした。

今回の研修会は、「開発許可」の主に基礎的な部分
を研修致しましたが、今後、機会があれば具体的な
事例のもと申請方法などについての研修も研修部
として実施できればと考えております。最後になり
ましたが、この度、講師を務めて頂きました梶原課
長、三村会員の両氏には、貴重なお時間を割いてい
ただき、誠にありがとうございました。再三になり
ますが、紙面をおかりして御礼申し上げます。



行政書士と成年後見入門編

会員 萩原 勇

平成23年11月17日(木)、午後より神戸支部会員・
亘賢子(わたりまさこ)氏により小野市で「成年後見
入門編」の研修会が行われた。今回は、東播支部と
本会企画部の合同研修会であり、合計26名もの参加
があり盛況であった。成年後見に対する、行政書士
の興味と関心の度合いを垣間見ることができた。

総務省の最近の国勢調査によると、日本の総人口
に占める65歳以上の割合は23.1%で、「団塊の世代」
が65歳に達する2014年頃には、4人に1人が、65歳以
上となり世界に類を見ない水準に到達することと
なる。

65歳以上の多くが健康で意思能力がしっかりし
ておれば問題はないが、加
齢とともに次第に精神上
の障害を抱えることとな
る。ところが少子化と高齢
化、そして地方における過
疎化等が同時に進行して
いる日本においては、高齢
者の支援を、親族後見人
のみで見るのは困難にな
りつつある。



近年、成年後見制度は浸透しつつあり、弁護士等
のような専門職等による第三者後見人が徐々に浸
透してきており、引き続いて、行政書士等が参入を
急いでいる。

この業務を行政書士としてこなすには、民法の第
7条から21条、成年後見制度等関連法案をマスター
し、任意後見契約の契約書類作成や身上監護等の法
律相談の分野で貢献することが考えられる。そのた
めには、行政書士会の組織を挙げての研鑽と広報活
動が必要であろう。

今後も入門編からさらに発展した研修が行われ
ることが期待する。



事務所訪問記

会員 渡邊尚樹

冬の気配が色濃くなってきた11月某日の昼下がり、上井支部長、鈴木副支部長と共に、西脇市板波町の、とある事務所の前に降り立った。事務所の敷地は広く、綺麗に手入れをされている。事務所玄関脇の立派な看板には「富永茂郎事務所」とある。インターホンを押して名を名乗ると快く中に招き入れられた。

温厚で優しげな表情の先生である。開業のきっかけは、「論語」の三十にして立つ、という言葉から。開業について特に不安はなかったというから、温厚な上に度胸も満点。土地家屋調査士のお仕事をされていく中で、行政書士業務も附随することから、行政書士資格を取得された。今まで特に仕事に困った事はないというから、その豊富な知識と卓越した技能、そして何よりもお客様の信頼を第一にするお気持ちによるものであろうと感じる。

将来の夢は海外に移住する事、それもアフリカに住まわれたいと事だ。

趣味は野菜作り、写真、ゴルフ、そし

て婚活支援・・・実に多趣味である。また多趣味な上に、その成果を伺い、また拝見させて頂くと、それぞれの道の深さに驚かされた。

野菜作りは、事務所周辺にある畑において、大根や白菜などさまざまな作物を育てられており、どれも生き生きと成育している。帰り際に頂いたお土産の大根は、驚くほどのみずみずしさと素材本来の豊かな香りに、早速いただいたその日の夕飯は本当の贅沢をした、という気持ちになれた。

写真は、事務所応接室そして元事務所にされておられた建物の中も写真展のようにたくさん飾られていた。程よい間隔で飾られた写真の数々はどれも素晴らしく、心を動かされる。機会があれば是非皆様にも見て頂きたいと、お世辞ではなくそう感じた。

地域社会、いやこの日本全体でも同様であろう、

人口減少は非常に大きな問題であり、この問題から起こり得る不都合は数知れない。この先を考えると、やはり子供が増えなければ明るい未来はない。子供が増える為には、結婚する人を増やさなければならない。それが今では、独身者が増え、また結婚するにしても晩婚化している。今は昔、どこの地域にも縁結びが趣味と、おせっかいを焼いてくれる人がいたものだ。時代の流れであろうか、そのような人も今では非常に少なくなっている。だが、このような時代だからこそ、そういう人が必要ではないだろうか。富永先生の婚活



支援についてお話を伺い、私もこのように感じた次第である。

私も富永先生のようにたくさんの趣味を持ち充実した人生を送りたい…だがいかんせん、趣味を楽しむためには、やはり業務を受注し、安定した事務所経営をするのが不可欠である。開業されて三十余年、お客様の信頼を得られ事務所の安定経営を続けられている富永先生に、新人へのアドバイスを聞いた。

「直接、仕事を下さいというような営業ではなく、地域活動、社会活動に積極的に参加し、人の輪を創る。結果としてこれが一番の営業ではないでしょうか。」

経験に裏打ちされたアドバイス。私のような若輩者は特に謙虚に受け止め、一歩ずつ少しずつ着実に歩まなければと襟を正す。

約1時間半に渡り、業務のこと、趣味のこと、その他本当にいろいろなエピソードやお話を伺うことができた。中には直接お会いしなけれ

ば聞けないような話もあり、どのお話も興味深く、おもしろいものだった。紙面の都合上、書ききれない話はまたの機会に…

最後に富永先生のモットーを紹介させて頂き結びとさせて頂く。

為せば成る

お忙しい中ご対応頂き、貴重なお話をお聞かせ頂きました富永先生、本当にありがとうございました。



自身で制作された車庫

富永茂郎先生

(行政書士・土地家屋調査士・測量士)

昭和25年1月生まれ

大学卒業後、測量会社に就職、その後青年海外協力隊に参加、アフリカのタンザニアにて測量技術を教える。その後、30歳の若さで独立し、土地家屋調査士事務所を設立、平成7年には行政書士登録、お客様からの信頼を第一に主に土地関係(開発・農地等)の業務を手がける。

有限会社 アイ・ツーリスト

代表取締役 河島 勉

675-1317 兵庫県小野市浄谷町3200番地
TEL.0794-62-6237 FAX.0794-62-7090

法人設立・建設業許可申請・貨物自動車営業許可申請
介護事業申請・損保ジャパン & 兵庫県火災共済代理店

荻野行政書士事務所

行政書士 荻野博明

〒679-0321 兵庫県西脇市黒田庄町田高669
TEL (0795) 28-4165 FAX (0795) 28-3469

総合建設業

MK 松兼建設株式会社

〒679-0322 兵庫県西脇市黒田庄町石原1470-19
TEL (0795) 28-4352番 FAX (0795) 28-2905番

東日本大震災義援金お礼

支部会員の皆様から、96,500円の義援金を頂きました。お預かりした義援金は、兵庫県行政書士会に送金させていただいております。
会員の皆様のご好意に深く感謝いたします。有難うございました。

新入会員の紹介

かわい

あきのぶ

河合 昭延

事務所 小野市本町52番地の9

TEL. 0794-63-7761 FAX. 0794-63-6498

平成23年7月入会

昨年7月に入会させていただきました。

私は40年余り市の行政事務を担当してまいりました。この度行政書士の仕事の機会を得まして、皆様の仲間入りをさせていただきました。9月には新入会員研修会に出席させていただき、業務の広範さと責任の重大さを改めて痛感し、気が引き締まる思いで日々勉強の毎日です。まだ仕事は少ない状況ですが、依頼・相談を受けた業務は誠意を持って期待に応えたいと考えています。

会員諸先輩の方々のご指導、ご助言よろしくお願いたします。

こばやし

かつのり

小林 勝則

事務所 小野市復井町1273番地の1

TEL. 0794-66-7501 FAX. 0794-66-5131

平成23年11月入会

昨年11月1日付で、新しく入会させていただき、46歳にして、すごく新鮮な気持ちでスタートしたところです。

その一方で、わからないことばかりであり、この不安な思いを払拭するためには、日々、精進していかなければならないと痛感しています。

今後、精一杯、頑張っていきたいと考えておりますので、諸先輩方のご指導のほど、よろしくお願いたします。

・・・屋根のお医者さん・・・



〒679-0222 兵庫県加東市高岡2180
TEL(0795)48-2358
FAX(0795)48-3799



グラフィックデザイン・印刷

Rand graphics

679-1131 兵庫県多可郡多可町中区曾我井424
Tel.FAx 0795-32-1930

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

さあ平成24年！新しい年の幕開けです。昨年はいろいろありました。今年もいろいろな事があるのでしょうか。それもすべてひっくるめて、今ここにいるという事に感謝していきたいと思ひます。

年2回発行の本誌も早いもので68回目を数える事となりました。多くの方々の努力により続けられている本誌を更に良いものにできますよう広報部一同、今後も頑張っ参りたいと思ひます。

さて、今年の干支は「辰」。皆々様におかれましても、龍のごとく天高く昇る一年でありますよう心よりご祈念申し上げます。
(広報部 渡邊)

東播支部会員動向

(平成23年12月現在)

会員数 / 90名
西脇市 / 22名・多可郡 / 5名・加西市 / 23名
加東市 / 20名・小野市 / 20名

ぎょうせい はりま No.68

発行日 / 平成24年1月1日
発行人 / 上井秀勝
発行者 / 兵庫県行政書士会 東播支部
〒675-2303 加西市北条町古坂442番地の2
上井秀勝事務所内
TEL(0790)42-8840 FAX(0790)42-8945